

## 素焼きの土の優しさ



テラコッタ(素焼き彫刻)の小さなオブジェ。  
土やパステルの素朴な色合い、  
穏やかなたたずまいが存在感を放つ。



ほほ笑んでいるようにも、悲しげにも見える表情。その彫像は見詰めるほどに静かに何かを語りかけてくる。この人物は何を考えているのだろうか？どんな人生を送っているのか？そういえば、誰かに似ているかも…。そんな想像が膨らんでいく。「見る人の直感や気持ちちが投影されて作品が生きてくる。作品を見ながら人物の設定や物語を自由に想像して楽しんでもらえたらうれしいですね」

秋田市在住のアーティスト、安西大樹さんはテラコッタで人物の半身像や全身像、オブジェやブローチなどを作っている。イタリア語で「焼いた(cotta)土(terra)」を意味するテラコッタ(terra cotta)は、粘土で成形し、約800℃の温度で素焼きにするもので、縄文土器や土偶、埴輪と同じ技法。約1200℃で焼き上げる陶器に対して、低い温度で焼くテラコッタは土そのものの色や手触り、温かみそのまま残る。

秋田公立美術工芸短期大学時代

は陶芸を専攻して器を制作。卒業後に「以前から興味があった」という彫刻の制作を始めた。彫刻の技法はさまざまあるが、粘土を成形することを「塑造」と呼び、テラコッタは塑造彫刻の一つ。

粘土を練って成形し、一度中をくり抜いてから再び成形して焼き上げる。その後、必要に応じて着色する。

作品のイメージはその時々気分や季節、風景などをもとにしている。「テラコッタは素材の質感が優しいので柔らかな表情の作品に仕上げられる。さり気なくその場を穏やかにしたり、見る人を心地よくしたり、そんな作品を作ってきた」

光や影、見る角度、置く場所によっても作品の印象が変わるから面白い。見詰めるほど、優しい空気に包まれる。



Daiki Anzai

テラコッタ作家

安西 大樹さん

※作品に関するお問い合わせは  
「まど粹」秋田市大町3-1-12  
川反中央ビル3F  
TEL.018-827-6212まで  
作品の常設展示、販売を行っています

## 【個展】

2014年4月17日(木)～29日(火)

会場:喫茶carta

TEL019-651-5375

盛岡市内丸16-16(県民会館裏手)

11:00～20:00(休/水曜、最終火曜)

